



兵庫支部NEWS H16 2月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭

ホームページ <http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono> Eメール nagoshihideaki@yahoo.co.jp

購読料 12回1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座00980-2-245822

口座名: 北九州市立大学同窓会兵庫支部

兵庫支部月例会1月「三金会」報告

平成16年1月16日於「フリージア」にて午後6時より開催。

出席者: 大村実良(33商) 高尾巖(36商) 平間正昭(37商) 森下綏夫(37商) 山本信司(37米英) 名越英昭(37米英) 二宮慶治郎(38米英) 安徳信義(44商) 計8名

1. 支部総会開催の件

開催曜日を日曜日とし、6月20日(日)を第1候補として、昨年会場が取れず断念した、JR芦屋駅モンテメール6階、インド料理レストラン「シャンティ」特設会場を当てる事とする。

会場が取れない場合は、名越支部長、森下副支部長、安徳副支部長、大村事務局長、二宮幹事長の5名で別途協議してきめる。

2. 同窓会会費納入状況の件

北友会会報12月号に掲載された5/15~11/20の期間に同窓会会費を完納された人239名のうち兵庫支部関係者は4名であるが、その後12月に完納された人をふくめて下記の5名が完納されました。

谷口督(62経済)、都築保(25外専)、澤田英憲(44商) 森陽子(45国文)、五所尾俊哉(H01国文)

3. 同窓会会費納入促進活動について

15年度から始まった支部主体の納入促進活動について、先ず始に分納中の人に、平成18年3月末までの特例として総額で20,000円(従来は分納の場合総額で30,000円)を納入すればよいことを知らせ、各分納者の残高を知らせる文書を送付することとする。

また15年度以降の納入促進活動期間中に完納された人達を支部総会・懇親会の会費を半額とすることが提案され、出席者全員が賛同。

平成16年度兵庫支部総会・懇親会

6月20日(日)開催**JR芦屋駅モンテメール5階****インドレストラン「シャンティ」特設会場**

開催時間・会費については次号にて

冬の金剛山登山

歩こう会2月オフ会は、大阪と奈良の県境にあり大阪府の最高峰1125mの金剛山登山を楽しみました。



なぜか2月11日の建国記念日の登山にこだわる歩こう会二宮会長の案内で、朝7時阪神電車西梅田駅に集合し、南海電車高野線河内長野駅からバスにて登山口に9時前に到着。

2年前の同日金剛山登山初体験したときは生まれて初めてアイゼンをつけての雪道行進に感激したが、今回も中腹辺りからアイスバーンとなっていて、アイゼンのお世話になった。

登山口から山頂まで約1時間半の行程。山頂には500回以上1,000回以上の登山者名の掲示ボードがあり、老万回以上の人が居られる事にびっくり。同行の平間氏(37商)も20回以上登山暦があり、登山記録簿も持参して今回の登山記録をゲット。

以下裏面に続く

第21回三金ゴルフ

開催日時: 平成16年3月24日(水) AM9:45スタート

開催場所: 神戸ゴルフクラブロータリーコース すずらん

プレー費: ¥12,500

申し込み先: 三金ゴルフ同好会会長 安徳信義(44商)

TEL 078-917-1367 Fax 078-917-1376

E-mail: antoku@ethnic.co.jp

2月現在参加申込者: 安徳信義(44商) 松山仁(44商) 長瀬正春(44商) 久芳健二(44中) 山田紘昭(44商) 澤田英憲(44商) 河野旺生(36商) 平間正昭(37商) 山本信司(37米英) 名倉勝征(41米英) 島村裕司(H12経済) 11名

損害保険・医療保険・がん保険

の総合保険代理店

安心の発信基地

大村保険サービス代表 大村実良
(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8318



《自然木 高級檜造りの家》

増改築・新築・不動産全般

S 株式会社 瀬戸内ホーム

代表 永翁正臣
(昭和41年 商学部卒)

〒671-1103

姫路市広畑区西夢前台6丁目2番地

Tel. 0792-36-0833

Fax. 0792-36-0905

共和国記念日

インドより 一第7回一

高森千賀子 (44米英)

今年の最初の重要な学校行事が1月26日に無事終了した。この日はインドの51回目の共和国記念日だ。8月15日の独立記念日と並び、毎年各学校では早朝から祝賀式を行う。

校長が生徒に、当日は朝7時に登校するようにと伝えたので、私は7時前に学校に到着した。しかし、教師たちはおろか、誰ひとりとして登校していない。私が時間を聞き間違ったのか、それとも最近寒いので、開始時刻を遅らせたのかと不安になりながら待っていたら、教師たちがやって来た。時刻は7時で合っていたのだが、インド時間だ。断っておくが日常の学校の始業時刻は定刻どおりにきちんとしている。

教師たちは、校庭で国旗掲揚の準備をしたり、椅子を並べたりと支度をする。前口には全生徒で、校庭と校舎の周囲の清掃をすませた。

やっとチラホラと登校して来た生徒たちに、マリーゴールドの花で花輪を作らせる。マハトマガンジーとサラスワティという学問の神様の額入りの写真に花輪をかける。また来賓にも首に花輪をかけたげるのだ。国旗の中に花びらを入れて、それを丸めて紐で軽く結ぶ。紐を引っ張ったら、国旗が開くと同時に中の花びらが散るという仕組みだ。

全ての準備が整い、生徒が整列し、来賓や生徒の親が集合して、祝賀式が始まったのは8時半だった。国旗の掲揚、祝辞の後、生徒たちは歌や踊り、寸劇を披露した。生徒たちはこの日のために、放課後や日曜日を返上して練習を重ねてきた。その成果が現れ、見物人から拍手喝采を浴びて、生徒と教師たちは満足顔だ。

最後にブンディを配る。ブンディは小麦粉を油で揚げて砂糖水につけて作るスイーツの一種で、一見トウモロコシの粒のようだ。生徒をはじめ、式典の参加者全員に配る。近所の人々、通りがかりの人たちもこのブンディをもらい、みんなで共和国記念日を祝う。“インド共和国よ、繁栄に向かって進め!”と。

一面より 冬の金剛山登山(続き)

山頂から葛木神社に参拝後、昼食予定場所のピクニック広場へと雪道を歩く。

二宮会長とゲストの野村氏持参の携帯コンロでお湯を沸かし、各自持参のカップ麺に舌鼓を打つ。山上は0℃近くに冷えこんでおり暖かいカップ麺がこの上ないご馳走である。

重い水とコンロを運ばれた両氏に心から感謝。藤田前会長もカップ麺の残り湯でコーヒーを作り皆に配布。感謝!!

足を痛めた二宮会長とゲスト参加の謝さんはロープウェイで下山、残りは再び雪道を下山。結局両方共に同時刻ごろにロープウェイ前バス停に到着し、帰路に着く。

特別寄稿 モンゴルの冬

神戸商科大学院経済学科研究科 奇 梅

お正月を過ぎると大気がだんだん暖かくなりますが、内モンゴルのその寒さはやはり半端なものではありません。最低気温は-20℃になる日はまだまだ3月ぐらいまで続きます。

寒い中、おいしい温かい料理が楽しみです。伝統的なモンゴル料理は、お肉、小麦粉、塩を基本とするシンプルなものです。

日常のお菓子里様なものには、お砂糖も使います。中華料理のような多くの調味料になれた人には、最初モンゴル料理が物足りなく感じるかもしれませんが、素材本来持っている味を生かして調理するので、食べれば食べるほどお肉、お野菜のそのままのうまさが味わえることができます。

日常よく食べているのは、羊肉、牛肉の煮込んだものです。味はほとんどシンプルな塩味です。その煮込んだ肉が冷めると、朝のお茶のときに、スライスして熱いミルクティー(紅茶)に入れて食べることもできます。お茶もお肉の味がしておいしくなります。その味を味わったことのない人には、想像もつかないでしょう。

普段流れていてなかなか渡れない小さい川が、冬になると厚く凍っており、われわれにはスケートをする絶好の場所になります。天然のスケート場なので、平たくはありません。凸凹でよく転がるもので、楽しい思いでも、つらい思いでたくさんありました。怪我までしたことも何回かありました。

毎年冬では、大雪が何回か降ります。雪合戦をするのが楽しみです。余りにも寒いのですぐに暖かい部屋へ逃げてしまいます。

目は石炭の粒で飾った大きな雪だるまを作ったら2、3日持ちます。ひざまでの湯木が積もりますので歩いて転がる人もたびたび見かけてますね。こんな冬では、アイスクリームを作るのには冷蔵庫が要りません。外で一晩置いておけばおいしくきれいにできます。

旧暦のお正月が過ぎると、だんだんと暖かい春が訪れます。春の足は少し遅いですが、4月5月になると、厚い冬着を脱ぎ、やっと春らしくなります。

歩こう会3月例会

明石・なぎさ海道を歩く

集合場所：JR明石駅改札口

集合時間：午前10時

コース：JR明石駅北口→明石市立天文科学館→柿本神社→月照寺→明石神社→明石市立文化博物館→明石公園(明石城)→明石川河川敷→無量光寺→岩屋神社→高速船乗り場魚ノ棚商店街→JR明石駅 (約7.0km)

兵庫支部月例会『三金会』会場

毎月第三金曜日午後6時～8時

すなっく

フリージア

神戸市中央区北長狭通2-5-1

タイシンサンセットビル6F


電話078-392-2466

お気軽においで下さい

1階は
がんこ寿司

JR元町

JR三宮



アメリカ合衆国文学逍遥

作家と風土、その作品梗概&WRITERS PERMANENT ADDRESS
CD 本文 302 頁 ¥1,000 (送料共) k-fukuda@cello.ocn.ne.jp 迄